

功労賞

免震構造の普及推進に尽力

須賀川勝



須賀川勝氏は、協会創立時より現在に至るまで18年間にわたり、免震構造の普及・推進に尽力され、また、日本免震構造協会の活動と発展に貢献されました。その功績は極めて顕著であり、ここに、功労賞を贈ることになりました。

主な功績

出版部会委員長（現在はオブザーバー）として、会誌「menshin」創刊号～No72号まで、発行しました。会誌「menshin」は、年4回発行し、免震建築・技術に関わる情報誌で、免震建築訪問記、設計例、部材の性能、免震関連技術等を掲載しています。機関誌として定着しました。須賀川氏は、15周年記念事業の広報部会・コンペ部会の委員長として活躍され、また普及委員会委員長としても、現在も活躍されています。

須賀川氏は、人脈広く・フットワーク良く柔軟性と、スピーディさを持ち合わせ、そのおかげで常に締め切りと背中合わせの会誌を、順調に発行し、免震普及に貢献されました。

功労賞

免震構造の普及推進に尽力

中山光男



中山光男氏は、協会創立時より2009年までの16年間にわたり、免震構造の普及・推進に尽力され、また、日本免震構造協会の活動と発展に貢献されました。その功績は極めて顕著であり、ここに、功労賞を贈ることになりました。

主な功績

1995年1月の阪神・淡路大震災の同年10月に、「免震構造入門」講習会を全国で開催し、その後、常設講習会「免震構造設計の実際」を開催し、好評を博しました。また、事業企画委員会委員長として、「免震フォーラム」を開催しました。2000年度よりスタートしました当協会の認定資格制度「免震部建築施工管理技術者」（2011年4月現在で2,629名が登録）と、2004年度よりスタートしました性能評価事業の創設の中心となり、軌道にのるまで活動されました。このふたつの事業は、現在は当協会を支える事業となりました。

中山氏は、アイデアマンで優れた指導力と決断力、実行力を備えていました。

残念なことに、中山氏は、昨年2010年11月2日に逝去されました。哀悼の意を表します。